

これからの農業

行政は…

4Hクラブと斉藤市長が懇談

市農業振興協議会の4H部会（渡辺純一部会長）の研修会がさきごろ、吉原市民会館で開かれました。4Hクラブは、若い農業後継者のあつまりで、4H部会は鷹岡、大淵酪農、富士、浮島、須津、岩松、吉原の4Hクラブの会員94人で組織されています。活動としては、先進地の視察や体験発表会などを行ない、農業技術の向上をはかっています。

この日は、意見発表会を行ない、そのあと「新都市計画法と税制改正」の研修をうけ、午後は斉藤市長をむかえ「市の農業行政」について懇談を行ないました。

懇談会では、4H部会員から「富士市の将来の農業をどう思うか」「農

業と公害について」など活発な質問がされました。

これに対して斉藤市長は「これからの農業は企業化されていくので、多角的な近代経営を行なっていくことが必要だ。農業問題は富士市の長期ビジョンに取り入れ研究をすすめているが、みんなも自分たちの考えを市に示してほしい。公害については、防止協定も進めているので2年ないし3年のうちには、きれいな町になつていくと、わたしは確信している」と語り2時間にわたつて意見をぶつけあいました。



【農業行政について4H部会員と意見をかわす斉藤市長】

か婦福祉資金を

貸し付け

か婦福祉資金の貸付制度が10月1日から実施されます。この制度の対象は、子どもが20歳になつたため母子福祉法の対象外になつた母子、または配偶者をなくした女子。受け付けは10月1日から実施しますので、希望する人は市福祉事務所児童係へお申し込みください。

- ・事業開始資金 30万円以内
- ・事業継続資金 1回につき15万円以内
- ・技能習得資金 月額2,500円で3年以内
- ・就職支度資金 25,000円以内
- ・転宅資金 1回につき18,000円以内
- ・住宅資金 1回につき20万円以内
- ・療養資金 10万円以内
- ・生活資金 月額7,500円
- ・結婚資金 子ども1人につき5万円以内
- ・修学資金 高等学校が月額1,500円、
大学と高専学校が3,000円
- ・就学支度資金 25,000円以内
- ・修業資金 3年以内で月額2,500円

※償還期限などくわしくは福祉事務所児童係（吉原事務所、電52-3111）へ。

今と昔

今と昔

富士川の渡し ⑥

左下の写真は、富士川の船渡しの絵です。五貫島の岸から蒲原宿の地震山あたりへの渡しです。

いつころのものかよくわかりませんが、旅人の中に武士の姿が見えないことや、東岸（五貫島）に郵便脚夫らしい人影が見えることから、明治初年ころのものと考えられます

明治4年に宿駅制度が全面的に廃止されました。この廃止によつて、水神森近くで船渡しをして蓼原—吉原宿—鈴川の順に通つていた東海道とは別に、蒲原宿から川下を船で渡り五貫島—柳島—吉原湊—鈴川を通つていた旧東海道が復活されました。これを便道といいますが、旅人は近道

なので一時は東海道より利用したといわれています。

明治6年ころには、五貫島に川口屋・今村屋、宮島に島田屋、川成島に和田屋、柳島に秋山本家と分家、前田に加藤屋という宿屋ができました。また、茶店などもできて便道はたいへん繁盛したといえます。この便道も明治22年に東海道線が開通すると、農民だけが利用する静かな道になりました。

写真—左は明治初年ころの富士川船渡しの絵（蒲原町志田喜代江さん蔵）です。右は昨年から工事がはじめられた富士由比バイパスの富士川工事現場。富士由比バイパスの完成は昭和46年の予定です。

